

## IV. 子ども向けアンケート調査の結果・自由意見

子供向けアンケート調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。ここでは、その一部を紹介する。以下に記載する意見は、できる限り原文そのままに記載している。

### (1) 子どもの声

分類	お世話の相手	内容
小学5年生	いる	私はヤングケアラーを初めて知ったのですがもし私の周りでヤングケアラー子供がいたらその子を少しでもいいから楽にしてあげたいです。
小学5年生	いる	おてつだいに関する質問が多かった
小学5年生	いる	これからも、自分が親に世話をしてもらっていることをありがたいと思いたいです。
小学5年生	いる	ヤングケアラーをこのアンケートで初めて知って、そんな事があるんだなーと思いました。まだ子供なのに介護をしている子がいることを知り、自分から調べてみたいと思いました。
小学6年生	いる	このアンケートをやりヤングケアラーで困っていることなどを改めて深く感じました。これからもヤングケアラーの気持ちを考えて、行動し、ヤングケアラーを手助けしている、団体などに、大きくなったら入りヤングケアラーを言うものを、減らしていきたいと、思いました。
小学4年生	いない	ヤングケアラーの人がまわりにいるのならば、少しでも役に立てたらいいなと思いました。そして、ヤングケラーの人はとても大変なんだと実感しました。とてもいいたいけんになりました。ありがとうございました。
小学4年生	いない	アンケートの感想 誰かに話したり聞いてもらったりするわけじゃないのでとても記入しやすかったと思いました。
小学4年生	いない	料理を作ったり、子供のお世話をするのは、大人がすることだと思っていたけど、そういうことをする子供もいるから、驚いた。
小学4年生	いない	このアンケートに答えて、悩みが私にはあるからそれを友達などに、言ってみたいです。
小学4年生	いない	このアンケートの感想 家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーにとってとても良いと思いました。 なぜかというところの「自由に書いてください」だったら気軽に困っていることを相談できるからです。
小学4年生	いない	大人の世話や、兄弟の世話は大人がやるものだと思う。 自分から進んでやるのは、いいと思う。

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いない	ヤングケアラーの人達が家族のお世話をしていることをバカにする人がいない、「ヤングケアラーなんです」とはっきり言える社会にしてほしい。
小学5年生	いない	ヤングケアラーのことは、元々知っていたけど私はヤングケアラーではないので遠い存在に感じていました。でも、小学6年生、15人に1人いるということを知って、このアンケートのおかげでヤングケアラーのことを身近に感じました。
小学5年生	いない	子供一人では解決できないことが多いと思うので周りの助けてくれる人に頼んで解決することがいいと思いました。
小学5年生	いない	私の周りには、いないと思うし、学校に配られたチラシを見る前は、名前も知らなかった。けど、あまり想像ができない。
小学5年生	いない	ドラマでヤングケアラーを知ったのですが、演技で、苦しんでいても助けなくなったので本当にあると思うと心が締め付けられました。
小学6年生	いない	話したくても話せない人がいるためこのようなアンケートで聞くことができとても良いと思いました。また、アンケートの内容ではわかりやすく丁寧に質問していたのでとても良かったです。
小学6年生	いない	とくに、そんな子がいるわけでもないから、気持ちがわかるわけではないが、なんとなく友達はあまりからかわないほうがいいと思う
小学6年生	いない	自分からヤングケアラーのことを相談できない子もいると思うので、こういったアンケートこれからも続けていくと良いのかなと思いました。
小学6年生	いない	子供と大人の仕事ややることは区別しないほうがいいと思う。
小学6年生	いない	ヤングケアラーは自分には関係のないことだと思っていたが、小学生にもいるかも知れないということを知って衝撃を受けた。
小学6年生	いない	ヤングケアラーの実態調査として、ただ調査をして終わるのではなく、生活保護などの社会保障制度の充実を目指すべき。
小学6年生	いない	ヤングケアラーについてよくわかった。 また同じ年齢で大人の世話をしていることにすごく驚いた。
小学6年生	いない	兄弟が話すこと何でもかんでもヤングケアラーだなんだかんだと親に言わせないでほしい
小学6年生	いない	アンケートで本当のことを言える人は少ないと思いました。
小学6年生	いない	アンケートをしてスッキリする人もいると思いました。
中学1年生	いない	<p>■大人に相談しにくいと思っている人が多いと思うので、アンケートを定期的に行ったりしてほしいです。</p> <p>■相談をすると時に解決第一優先ではなく話を聞いて共感して相談している子の気持ちを理解することを優先してほしいです。</p> <p>■相談する子の中には解決を目的としている子だけではないことを知って欲しいです。</p> <p>■意味のわからない校則を改善もしくはダメな理由を説明してほしいです。 (靴下は白のみ、髪の毛が肩についたら結ばなければいけない。眉毛をいじってはいけない、など)</p>

分類	お世話の相手	内容
中学3年生	いない	ヤングケアラーより先にヤングケアラーがお世話してる人を何とかしたら
中学3年生	いない	あまり必要性のないオブジェなどに税金をかけるのではなく、介護施設の建設や、見えないところで苦しんでいる人のために使うべきだと思う。
中学3年生	いない	ヤングケアラーとは障害や病気のある家族を介護することや幼い兄弟のお世話をすることだとはじめて知った。
中学3年生	いない	精神病を患っている母親がいるので、勉強などがあまりできない。母は、幻聴が聞こえる。なので、幻聴に対し、部屋の壁を貫通するほどの大声で反応しており、私が勉強できないからやめて、と言うと、わかったとは言うもののまたすぐに大声で反応し始める。病院で薬を出してもらおうにも、母が薬を拒んでおり、むりやりにでも服用してもらおうにも、母の症状が更に悪化しそうで怖いし、私もむりやりするのは可哀想で、嫌だ。だがそうすると、私が勉強できない。私が生まれた頃からこの状態なので、正直諦めているところもあるが、受験生としては改善できるものなら改善したい。 また、こういう母なので、私が過去に死にたいと思ったときも相談できず、なんなら、普段の学校生活のちょっとした悩みでさえ相談できない。 過去に、私の話を聞かず、ただ私に対して怒ったり、否定することもあったので、今、何か相談してこの反応をされようものなら私が爆発するだろう。母の病気が治ることでこの点も改善されるならば、私と母の関係は今よりもっと良いものになれると思う。母の病気を直したい・・・。
高校1年生	いない	ヤングケアラーである児童がいることは事実だし、少なからず負担になっていると思うから、こういった調査を行うのはとてもいいことだと思う。 私はヤングケアラーではないが、そういった児童がその子だけで相談できる窓口があればスムーズに支援ができると思った。
高校1年生	いない	普段学校に通っていても、ヤングケアラーだなどと思える人が周りにあまりいないので多くの人には想像しにくいと思います。 豊島テレビとかもありますし(僕は見れないのですが..)ドラマとかでヤングケアラーネタを取り扱い、住民の意識や知識を高めるのがいいのかなと思います。もしかしたらヤングケアラーが普通だと思っている人も中にはいると思うので、そういう人たちにも新しい見方を与えられるかも知れません。
高校1年生	いない	ヤングケアラーに困っているが、携帯電話を持っていない人はどう助けを求めるんだろうと疑問に思った。
高校1年生	いない	クラス内でも家族の世話をしていると言ってた人が多く、ヤングケアラーの実態はどうなっているのだろうと気になっていた。私の家は元々転勤族で祖父母と同居している訳でもないのに両親も介護をしていなかった。だから、家で誰かの世話をするというものがどれだけ過酷なものか正直分からない。ただ、コロナウイルスの影響で私の世代は学校の行事がただでさえ中止になってしまっているのに、家の事情で思い出を作ることが妨げられるのは私だったら辛いと思う。少しでも早く、この現状が良い方向に進むことを願っている。

分類	お世話の相手	内容
高校1年生	いない	こうしたアンケートはどんどん行って、区政に役立てて欲しい
高校1年生	いない	ヤングケアラーについて、初めて知ったことばかりでした。殆ど聞いたことがありませんでしたが、このアンケートを受けて、様々な生活を送っている人がいるということがわかりました。
高校2年生	いない	友人にヤングケアラーの人がいたが本人は好きでやっていた。それを同情されるのは違うと思う。ヤングケアラーが悪い事、という認識だけで広まらないと嬉しい。
高校3年生	いない	テレビなどメディアでヤングケアラーについて耳にすることはあっても、学校など実生活の中で話題になることがあまりないテーマなのでニュースに接していない人は知らないこともあるかもしれません。パンフレットを配るだけだと配られた人が本当に読むかどうか確かではないので、より広く確実に伝えることができる方法（中学校、高校での講演など）で周知することが必要だと思います。

## (2) 話を聞いてほしい、理解してほしい

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いる	子供の話をちゃんと聞いてほしい
小学5年生	いる	自分の話を聞いてもらいたがっている人たちに、その子達の話聞いてあげてほしいです。 そして、その子がアドバイスを欲しがっていたら、是非してあげてほしいです。また、話したくないと思っている人の話は、無理やり聞かないであげてほしいです。 ダウン症などの障害者の気持ちもきちんと考えてください。

### (3) 要望、求める支援（世話をしている家族がいると回答した生徒の意見）

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いる	必要なのは、しょうがいのあるひとをみまもること
小学5年生	いる	自由に悩みを相談できるような場所を作ると悩んでいる子供達を助けられると思う
小学5年生	いる	アンケートは大変だったけど、なやみをきいてくれたかんじがして良かった
小学5年生	いる	お金がほしい、発達障害をなくしたい、
小学5年生	いる	自分が自由にできる時間と一日だけでも休んで自分の時間を作ることが必要だと思います。
小学5年生	いる	私は、お皿洗い 弟は、お風呂掃除をしています。
小学5年生	いる	ヤングケアラーのために少しでも手伝いをしてあげる。お金をあげる。
小学5年生	いる	自分がヤングケアラーかもしれないことを初めて知った。自分がちょっと頑張ればいいと思っていた。この調査で、家の中の状態が良くなるようには思えない。
小学5年生	いる	ヤングケアラーの子はとても大変だと思うので、このようなアンケートで相談できる場を作っているのはとてもいいことだと思います。
小学6年生	いる	自分は妹のお世話をしてるけどたいへんじゃない。
小学6年生	いる	もっと、相談しやすい環境を、整えてもらいたいです。
小学6年生	いる	学校でもっと遊びたいなあって思います
小学6年生	いる	① ホームヘルパーなどの職人を導入する ② みんなが払う税金でケアなどの料金を賄う
小学6年生	いる	ヤングケアラーの子に自分自身がヤングケアラーだと教えることが重要だと思います。
小学6年生	いる	相談にのってくれる施設を増やしたほうがいいと思う。
中学1年生	いる	ヤングケアラーの人にお金の免除を上げててください。
中学2年生	いる	夜中など家族しかいない時間はどうしたらいいのか
中学2年生	いる	自分はやりたくないとそのまま寝ちゃったりしているので、母は大変だと思う。
中学2年生	いる	母の家事の代行として食事の準備や後片付け、買い出しの手伝いをしていますが、社会勉強の面も兼ねて行っているんで、自分自身をヤングケアラーと思っていないし勝手に可哀想だとか思われたり変な目で見られたりしたくはないです
高校2年生	いる	医療費と生理用品を無償にして欲しい。生活的にもう少し支援して欲しい。
高校2年生	いる	誰にも知られたくない
高校3年生	いる	sns やマスコミなどでヤングケアラーの家族などを悪く報道しないで欲しい、家族のためにやってることであって嫌々やってるわけではないんです

分類	お世話の相手	内容
高校3年生	いる	<p>正直、将来への不安が大きいです。父は単身赴任先で暮らしており、祖父は今月から認知症が急速に進み、突然倒れ込む、うろついてしまう、幻覚が見えるなどの症状が出ています。また、促しても水分補給をあまりしないことから熱中症のような症状を引き起こすことがしばしばあります。そんな祖父の様子を確認したり、世話をしながら受験勉強をしています。さらにコロナ禍によって運動をする機会も減り、認知症が進んでしまったようです。祖母も高齢でベッドで寝たきりの日も多く、この先、何かあった時にどうするべきなのか。夏休みが終わったら私は昼間は学校に行ってしまうので祖父母に何かあった時に誰が対応するのか。父母も60代を迎えていくにあたって、自分が大学受験を終えた後に平常に暮らせるのか。一人で家族の何人の介護をしないといけないのか。将来への不安は底をつきません。しかしながら私は身近にヤングケアラーの支援をされている大学生や当事者の話を聞く機会にたまたま恵まれ、twitterを通して自分の意思で情報を収集でき、NHKの番組やネット記事などで学び、今何をすべきかを判断ができています。</p> <p>ぜひ今回の実態調査をもとに、ストーリーの形式にした「豊島区に住む1人のヤングケアラーの生活の例」をあげていただき、アンケートの選択肢では判断しにくい「あ、自分もこうだった」と共感しやすい形してひろく発信する事が、まだ「自分は当事者ではないだろう」と思い込んでしまっている、苦しさを抱え込んでいる18歳未満の同世代に自分の状況に違和感を感じたり、気づきやすくなる大きなきっかけになると思いました。また、そういう時に区はどのような支援の手を差し伸べてくれるのかについて、まだ考えて話し合える状態の高齢な家族と話し合える材料となるようなパンフレットなどを各家庭に配布していただきたいです。</p> <p>また、区の政策企画の際の議論の中心に子ども、ヤングケアラーの当事者を入れて話し合うことが何より重要だと思います。今さらになって「国が実態調査したか区でも明らかにしていく」という姿勢自体が、ヤングケアラーの当事者にとって「定量的なデータ」が存在しないと私たちの声や存在が支援するまでの価値として示されず、消費における未成年者取り消しや納税額が少なかったりなどの手厚い保護とトレードオフする形で私たち未成年が社会に意思表示をする機会や権利が当事者として蔑まれてしまっている現状があるように感じています。</p> <p>過去に対する責任は大人が負うものだと思いますが、未来に対する責任は私たちも背負っています。ぜひ一緒に目や耳を一番辛い状況に置かれている当事者から背けずに、問題と向き合っていきたい。ともに議論し、解決策を考え抜く公共政策の在り方を豊島区で実現してほしいと切に願っています。</p>
高校3年生	いる	無料で勉強できる場所などが欲しい

## (4) ヤングケアラーに必要なと思う支援

### ① 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

分類	お世話の相手	内容
小学5年生	いる	ヤングケアラーを助ける組織を作る。相談できるところを作る。
小学5年生	いる	大変な人は無理をしないで家族の人に相談したほうが良い
小学4年生	いない	ヤングケアラーのことも、疲れてしまったときや、相談にのったり支える人がいたほうが良いなともいました。
小学4年生	いない	ヤングケアラーのことも、疲れてしまったときや、相談にのったり支える人がいたほうが良いなともいました。
小学5年生	いない	ヤングケアラーというものをこのアンケートで初めて知って、そういう子供がいたらいけないなと思いました。そういう人などのために相談所などを作って欲しいと思いました。
小学5年生	いない	家族のお世話をしている子供などが、相談できる環境が必要だと思います。
小学6年生	いない	まだ、自分と同じ年齢の子がまた自分よりも、小さい子がヤングケアラーになっていて家庭の事情は他の人が入る場所ではないけど少しでも弱音や悩みがある場合は相談が大事だと思った。何事もだけど
小学6年生	いない	ヤングケアラーの人は、学校の先生や近所の大人などに相談する事をためらっていることが多いと思うので、家からでもすぐに困ったことを相談できる窓口などがあると気軽に相談することができるので、良いと思いました。
小学6年生	いない	悩みを匿名で話せる場所が必要だと思う。
小学6年生	いない	私は家族のお世話をしている子供や、ヤングケアラーのために、その子供たちはきっとそのことを誰にも相談できないし、もしかしたら自分がやらないといけないことだと思っているかもしれないから、まずはその子供達の話真剣に聞いてあげることが必要だと思います。
小学6年生	いない	〈家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーの為に必要だと思う事〉 ・いつでも相談ができるような環境 ・自分が好きなことをやることのできる時間 〈学校や周りの大人にしてもらいたいこと〉 ・ヤングケアラーについての授業をする ・ヤングケアラーと思われる子・ヤングケアラーということを自覚していない子にヤングケアラーとはということを話し、その後にその子の話を聞く
小学6年生	いない	僕の場合大丈夫ですが、もし悩みを誰にも話せずずっと抱えている人だったら、このような伝え方があるので、とてもいいアンケートだと思います。
小学6年生	いない	・このようなアンケートを定期的に取り、困っている人がいたら相談にのる事 ・困ったらすぐに相談することができる環境になってほしい
中学1年生	いない	相談しやすい環境を作る
中学1年生	いない	相談できる場所を増やす。

分類	お世話の相手	内容
中学2年生	いない	障害者などのヘルパーが少ない世の中なので気軽に「ヤングケアラー」のイベントや交流会などに参加してほしい。
中学2年生	いない	ヤングケアラーの人達が相談できるサイトや場所を作るべきだと思います。
中学2年生	いない	市役所に相談しよう
中学3年生	いない	もっとヤングケアラーのことについて理解した上で周りの相談しやすい環境を作る事が大切だと思った
中学3年生	いない	なんでも悩みを聞いてくれるところに相談するのが1番だと思う。 又は先生方など
中学3年生	いない	もっとヤングケアラーの子どもたちが相談しやすいようにしたほうがいい。
高校1年生	いない	ひとりでも相談しやすい相手を多くしてあげるために、相談窓口があるならもっと広めて有名になって安心させてあげたりできると思う。
高校2年生	いない	ヤングケアラーに対応できる大人を募り、サポートすることが必要だと思う。例えば、ネットで困った時に簡単に伝えるシステムがあり、周知されると良い。
高校3年生	いない	学校にたとえば身近な養護教諭など相談できる要員がいて、こどもへの支援の必要性を汲むなど。 アンケートはある程度の現状や傾向を見る上ではよいのではないかと思う。

## ② 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重・声かけ

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いない	もし悩んでそうな子がいたら、進んで声をかけてあげたり、励ましたり、報告してあげたりしたいと思いました。
小学5年生	いない	家族のお世話をしている人には、「困ったときはいつでも相談していいんだよ。」と、声をかけることが必要だと思います。
小学5年生	いない	家庭のことで悩みを抱えている人、学校のことで悩みを抱えている人がいるかどうかをたくさんの質問で対応するのがいいと思いました
小学5年生	いない	ヤングケアラーは兄弟や家の家事を一人でしているので家は貧しいと思うのでヤングケアラーの子が楽になれるような場所を作ったほうがいいと思う。
小学5年生	いない	ヤングケアラーの子たちの話を聞いて、大人に言って聞かせる。
小学6年生	いない	学校や周りの人が家庭に踏み込むことで余計にその子供やヤングケアラーが苦しむ場合もあるため、改善点が見つからない限り何もしないほうが良い。
小学6年生	いない	相談したくてもいえない子が多いと思うから、周りの人が変だなと思ったら積極的に声掛けしてあげることが必要だと思います。
小学6年生	いない	ヤングケアラーのために、まず私達がヤングケアラーについて知り、もし自分の周りに孤立しているひとがいたら、声をかけてあげることが必要だと思います
小学6年生	いない	ヤングケアラーの人たちの家に見回りに行く事が大事だと思います。
小学6年生	いない	その人達同士で集まって自分が困っていることを相談し会う場を設ける事が必要だと思う。
中学2年生	いない	アンケートをして、もっと具体的にどういうことをやっているか、とか自分たちだけでも大丈夫なのか聞くといいと思う。
中学3年生	いない	ヤングケアラーをテーマにした劇をやったとき、本人たちはその生活が当たり前なことからヤングケアラーである自覚がない事が多いというのを知りました。 本人がヤングケアラーであることを自覚して、周りもヤングケアラーの実態を理解し、本人が周囲の人に助けを求められる環境が必要だと思います。
高校2年生	いない	ヤングケアラーの心や体のケアをしてあげ、ヤングケアラー自身が体調や精神不良にならないようにする。また、過度なケアはなるべく避ける。
高校2年生	いない	自分が今ヤングケアラーじゃないとして、そんな人達にとって大切なのは存在を理解し、必要であれば手を差し伸べることではないでしょうか。 ヤングケアラーの人達は恐らく、特別視されるよりは自分達のポジションをわかってもらいたいと思っている筈です。 友達なら相手の家の環境を理解したり、教師ならただ成績などを咎めるのではなく、彼らの相談相手になった方が、その人達の心は安らぐと思います。 自分としても、もしそういう状況に会ったら、実践したいです。

### ③ 学校におけるサポートや配慮

分類	お世話の相手	内容
小学5年生	いない	学校の先生からの配慮
小学5年生	いない	ヤングケアラーの人が、介護のために勉強が遅れることはあってはならないことだし、すごく難しいことだけれど、周りの大人に相談したり、学校側は、異変を感じたらすぐに疑って、適切な対処をすることが大切だと思う。
小学6年生	いない	生活の援助・学校で教師から悩みを聞くことが大切だと考える。
小学6年生	いない	ヤングケアラーのために学校でたまにアンケートをとってヤングケアラーの子がいたら先生など、信用できる人に相談することが大切だと思いました。
中学1年生	いない	プリントを配ったとしても、見る人が少ないと思うので、学校の授業でやったり、個人で先生方などが話を聞くということがいいのかなと思いました。
中学1年生	いない	このアンケートで初めてヤングケアラーについてちゃんと知りました。ヤングケアラーとは何か知らなかったけど、思っていたものとは少し違っていました。 私がもしヤングケアラーだったら家だけでなく学校や友達との間でちゃんと自分の居場所があると知ることによって少しでも気分が晴れたり、心が安らぐ、落ち着く場所ができるんじゃないのかなともいます。なので、その子の居場所をしっかりと作ってあげることが大事だと思います。
中学3年生	いない	ヤングケアラーに関する授業を行う
中学3年生	いない	学費などを安くしたり内申点の基準を少し下げたりすることだと思います。
中学3年生	いない	学校が始まる時間を少し遅らせると楽になると思います。
中学3年生	いない	学校とかが率先したり、専門の学校とか？いいのでは…
高校1年生	いない	私は中学生の頃、タブレットのクラスルームで相談するところに相談しました。でも、解決する方法を言うだけで私の言うて欲しい言葉を貰えませんでした。とても悲しかったし、相談しても意味がないんだなと思ってしまいました。なので、相談された時に解決方法を提案するだけでなくもっと心に寄り添って欲しいです。
高校2年生	いない	ヤングケアラーのことを学校で説明すべきだと思います。
高校2年生	いない	義務教育の一環として入れればいいのでは？小中学の道徳の授業などで。

#### ④ 周囲の大人の理解や寄り添い

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いる	ヤングケアラーは支援施設等がヤングケアラーをしている家に訪ねて支援施設等の方たちがやるべきだと僕は思いました。
小学4年生	いない	第一に、大人が動くことです。厚生労働省などが動いてもらうことをして欲しいです。
小学5年生	いない	ヤングケアラーのために税金でお金を配ったり看護師さんとかの他の大人にかぞくのめんどうを見てもらえばいいと思う。
小学5年生	いない	ヤングケアラーだということに周りの大人が気がつき助けてあげること。
小学5年生	いない	家にどこかが不自由な方がいたら、子供だけにしないでほしいです。信頼出来る大人がそばにいたら安心出来るからです。
小学5年生	いない	勉強するのと、遊ぶことが必要だと思います。だから、周りの大人が手伝えれば良いと思います。(ヘルパーさんではなくても)
小学6年生	いない	ヤングケアラーの人は、家族のお世話をするのが、当たり前だと思って、自分の時間を削ってしまいます。相談できる人がいないのが多く一人で抱え込んでしまうので、頼れる大人が必要だと思います。
小学6年生	いない	ヤングケアラーの子たちも自分の時間はほしいだろうし、たくさん我慢をしていると思うから、ときにはゆっくりすることは大切だと思う。
小学6年生	いない	今のようなアンケートで、ヤングケアラーを探し出し、豊島区が手伝うということがいいと思います。
小学6年生	いない	みんながヤングケアラーの子供の視点で物事を考えられる社会を基本として作って欲しい。 私の個人的な悩みはクラスみんなが電子機器を持っていて、持っていないクラスメート(受験組や習い事が多い人、私も含む)が話についていけないことが多いこと。
小学6年生	いない	ヤングケアラーのためには、周りの大人がその子のことをよく見てあげなければいけないと思う。でも、大人でも目の行き届かないところには、子どもが寄り添ってあげなければいけないと思う。
小学6年生	いない	ヤングケアラーである子供には自分の立場が他と違うということを自覚していただき、周りの大人は子供の立場を早く理解してヤングケアラーであることを教えてあげてほしい。
中学1年生	いない	私がなにかできるというわけではないので、だからこそ区の人たちにそういう子たちをしっかり守ってあげてほしい。
中学2年生	いない	豊島区には片親を支え支援してくれる事があるので、ヤングケアラーの人達などにもやってあげれるといいと思いました。
高校2年生	いない	周りの大人が気付いてあげる。近所の人や先生など

## ⑤ その他支援の充実等

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いない	無料で食事ができる公共施設
小学4年生	いない	障害がある人に、無料で、世話をする活動を行ったほうがいいと思います。
小学4年生	いない	ヤングケアラーは、小さいときから、大人と同じようにお世話をしているので、自分の時間がとれなかったりしているから、もっとヤングケアラーを減らすため、もっとお手伝いをする人を増やすのほうがいいと思います。
小学4年生	いない	ヤングケラーの人のために家事を手伝ったり、ちゃんと勉強できるような施設があるといいと思う
小学4年生	いない	・ヤングケアラーが一息つける場所をつくる ・ヤングケアラーたちの保護
小学5年生	いない	ヤングケアラーの人たちは、大変なのを我慢して障害の人たちを世話しているので、ヤングケアラーの人たちに向けて募金活動などをしたいです。
小学5年生	いない	このアンケートでヤングケアラーについて詳しく知ることができた。そういう家族のお世話をしている子たちのための学校があったらいいんじゃないかと思った
小学5年生	いない	代わりに面倒をみてくれる人を探して、勉強や安心した時間をもてるようにしてほしい。
小学5年生	いない	ヤングケアラーのために、ヤングケアラーのためのお手伝いさんをはけんしたほうがいいと思う
小学5年生	いない	介護士などのひとの介護支援、家事などの家の事の支援を無償でやる。
小学5年生	いない	ヤングケアラーのためには明るくなってもらえるように話したり、もし疲れたりしていて、もし暗くなっていたとしたら、ゆっくり休ませてあげたり手伝ってあげるなど、気遣ってあげるのほうがいいのかもしれない。と私は思いました。
小学5年生	いない	ヤングケアラーの人たちに必要だと思うことは、区市町村が把握し、必要なことをサポートしつつ、悩みを軽減させてあげることだと思います。
小学5年生	いない	障害者の家の家事のボランティア
小学5年生	いない	無料で食事を配布する。手伝いをしてくれる人をよべるようにする。
小学5年生	いない	オンラインで受けられる学校（いつでも受けられる）
小学5年生	いない	ヤングケアラーの子たち専用の学校など場所を作って欲しい。
小学6年生	いない	ヤングケアラーために、例えば幼い子供のお世話をしている子がいるなら、施設を建ててほしい。
小学6年生	いない	お手伝いをしてくれる人を簡単に呼べて、子供でも分かるような、仕組みがあるといいなと思いました。
小学6年生	いない	ヤングケアラーの子は、忙しくて、好きなことがやりにくいと思うから、国や都、区からの支援が必要だと思う。

分類	お世話の相手	内容
小学6年生	いない	不自由な人などを日中施設などにあずける
小学6年生	いない	ヤングケアラーに食べ物などを給付する。 ヤングケアラーにアンケートをとり、状況をわかってあげる。
小学6年生	いない	ヤングケアラーをなくすために豊島区などがおばあちゃんやおじいちゃんを引き取って生活を支えたとなくせると思う
小学6年生	いない	私はSDGs アイデアコンテストという自由研究の宿題で応募しました。 その時にヤングケアラーの人や他の人が楽になるようなことを書きました。 それでSDGs 給食センターを書きました。 このSDGs 給食センターを作ったり、もっとホームヘルパーなどの制度も上げてほしいです。
中学2年生	いない	本来大人がすることを自分が勉強や休む時間を削ってやっているヤングケアラーはたくさんいると思いました。支援するために介護士のような人にヤングケアラーを助けてもらえばいいと思いました。
中学3年生	いない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な支援</li> <li>・ヘルパーを無償で派遣(地方の行政機関 or 政府が経費を負担する)</li> <li>・学費免除(私立高校)(地方の行政機関 or 政府が負担)</li> <li>・相談窓口を数多く設ける。</li> <li>・親との別居を希望する場合一時的または正式に保護する。</li> </ul>
中学3年生	いない	ヤングケアラーへの支援として、経済的な支援よりも、人員的な支援のほうが良いと思います。
高校1年生	いない	集団でいるときではなく、全ての生徒1対1で話を聞く
高校1年生	いない	ヤングケアラーの子も大変だと思うので代理でやってくれる人とかがいると助かるのではと思う。
高校2年生	いない	ヤングケアラーの実態調査に基づいてそれぞれの家庭に必要な支援を行う体制の拡充が必要だと思う。
高校3年生	いない	家事などで、勉強時間などが取れないとストレスもたまるので、学校などは、ヤングケアラーに対する措置を何か取った方がいいと思う。 また、ヤングケアラーとまで言えなくても、親が忙しくて家事などをたくさんやらないといけない事もあるから、軽度のヤングケアラーのような人たちのことも考えた方がいいと思う

## ⑥ 資金・募金・補助金

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いる	お世話をしている子供に募金をする。
小学4年生	いない	ヤングケアラーの友達のことを思いやってそのような子どもたちに募金活動などをしてあげたいと思いました。
小学5年生	いない	制度を作りヤングケアラーの人たちを経済的に助けるべきだ
小学5年生	いない	政府から寄付金をあげる。
小学5年生	いない	困っている人に国から介護金を渡したらいいと思う。そしたら、ヤングケアラーが少なくなる。
小学5年生	いない	お金を寄付したりする。 ヤングケアラーのケアと学校の先生がちゃんと理解する。
小学6年生	いない	補助金をあげる。 区役所から介護する人を出す
小学6年生	いない	区がお金支給すればいいのではと考えております。
小学6年生	いない	ヤングケアラーのための寄付金は必要だと思う。
中学2年生	いない	給食費などをなくす
中学3年生	いない	生活に必要な費用や教育費の手当をするべきだと思う。
中学3年生	いない	ヤングケアラーの人は家族が好きなんだとテレビで見て、思いました。だからこそ友達とかに言えない人がいるんじゃないかなと思いました。一人で抱え込まなくていいように相談できる場所があることを地域的に広げて行くことがいいと思います。またヤングケアラーの特徴として、親が共働きの場合が多いように思えます。そのため金銭的な援助をして、両親のどちらかが働かなくてもいいようにしていくことがいいと思います。
高校1年生	いない	もっと家庭に金銭の補助を沢山した方がいい
高校1年生	いない	ヤングケアラーのいる家庭への十分な支援金が必要だと思う
高校1年生	いない	誰でもがお金の心配をすることなく平等に教育が受けれるようにしてほしい (授業料だけ無料ではなく管理施設代など、私立と都立の値段格差を無くしてほしい)
高校2年生	いない	自宅以外で無料で使える自習室が欲しい。
高校2年生	いない	ヤングケアラーを支援するのは税金ぐらいしか思いつきません。あとは募金ですかね。時間がないなら公立のオンライン中高などもいいかもですね。
高校3年生	いない	将来に関わる学費（大学、専門など）をもう少し安くしてほしい（サポート制度などを検討して欲しい）

## (5) ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと

分類	お世話の相手	内容
小学4年生	いない	ヤングケアラーのことをよく知らない子供のために、もっと分かりやすい説明をしてほしいです。
小学6年生	いない	特になし、わからないけどヤングケアラーについての理解を深めたい道徳(?)の授業でやる教科書にそもそものせるのは効果的だと思う。頑張ってください。
小学6年生	いない	家族のお世話をしている子どもやヤングケアラーために、必要だと思うことは、ヤングケアラーについて知ってもらおう>国や区の財政が厳しくても重要視してしっかり取り組むこととだと思う。
小学6年生	いない	以前、コマーシャルでヤングケアラーについて知ったんですが、ヤングケアラーに当てはまる人たちは自分で気づいていないことが多いらしいので、テレビだったり学校の授業など、身近なことで気づけるような活動をもっと広めたほうが良いと思います!!
中学1年生	いない	ヤングケアラーがいるということを、学校でプリントを配布するなどして、もっと多くの人に知って貰う必要があると思う。
中学1年生	いない	ヤングケアラーという言葉をもっと世の中に広めていく工夫をしていくともっと良いと思いました。私も今までヤングケアラーという言葉を知らなかったの、これからは多くの人がヤングケアラーの存在を認識できるようになると良いと思います。
中学3年生	いない	ヤングケアラーが集まるイベントや集金などの活動を行えばヤングケアラーの支援も広がるのでは
中学3年生	いない	ヤングケアラーは本人が自覚していないケースが多いと聞いたのでアンケートやお便り、掲示物などを増やして本人や周りの人たちに気づいてもらうのが良いと思いました。
中学3年生	いない	もっとsnsを使って発信するべきだと思うと思います。私はテレビのドラマでヤングケアラーを知ったので知って貰える機会が増えれば良いなと思いました
中学3年生	いない	中学生や高校生などの子どもたちが大人の世話をするのは、精神的にも肉体的にも辛いので、この現状をより多くの人に知ってもらうことが大切だと思う。
中学3年生	いない	ヤングケアラーのことについて具体的に教える講話を開いたりすると良いと思う。
高校1年生	いない	ヤングケアラーという言葉は知っていて、内容もある程度理解しているつもりでしたが、日本語が話せない家族のための通訳などもそれに該当することを初めて知りました。支援や理解を広げるため、学校でヤングケアラーについて知る機会を作ったり、SNSを活用してたくさんの人に知ってもらう機会を作る必要があると思います。

分類	お世話の相手	内容
高校1年生	いない	若者が良く使う SNS(Twitter・Instagram・TikTok など)でヤングケアラーについてや支援先、支援内容などの情報を拡散すると、必要な人に届きやすいと思います。
高校1年生	いない	私は、初めてヤングケアラーという言葉を知りました。世の中でもヤングケアラーに当てはまる人は、自分の目に見えてないだけで多くいるので、学校などでこのようなアンケートをし、個人個人に対応することが大事だと思います。
高校1年生	いない	ヤングケアラーということばをより広げ、自分がヤングケアラーということを感じかす世話をしている人たちに自覚できるようにする。
高校1年生	いない	みんながみんな学校に行けて教育を受けられる訳ではない状況が悲しいし、変えていくべき課題だと思った。自分が直接的に解決に向けてできることは少ないが、このヤングケアラーに対しての認識を広めて社会的問題意識をもってもらうように動くことはできるから実践してみたい。
高校2年生	いない	まだまだヤングケアラーの理解は少ないと思うのでこのアンケートにより、より多くの人にこの現実を知ってもらい、区としてはヤングケアラーで苦しんでいる子供達を見つけ、支援する必要があると思う。
高校2年生	いない	SNS などを通じてヤングケアラーについて知ってもらうことが大切だと思います。実際ヤングケアラーだったとしても本人はそれが普通だと思ってやっている可能性があるので、まずは知名度を上げるところからだと思います。
高校3年生	いない	自分自身も最近ヤングケアラーのことについて知ったので、まずはヤングケアラーという存在を多くの人に知ってもらうことが大切だと思います。
高校3年生	いない	ヤングケアラーは、家族のために自分の時間や労力を削っていることを、自分が気づいていないことがあると思います。彼らがこのアンケートを通して自分が困っていたことに気付いたりするきっかけを提供するアンケートはとても良い活動だと感じます。
高校3年生	いない	自分がいつヤングケアラーになってもおかしくないという現状を伝えていく必要があると思う。